

会 議 録

会 議 名	第 3 6 期小金井市公民館運営審議会第 9 回審議会（要点記録）		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	令和 4 年 9 月 1 4 日（水）午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 4 0 分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎 8 階 8 0 1 会議室		
出 席 委 員	渡邊委員長 浅野委員 川原委員 嵯峨山委員 橋本委員 坂内委員 本川委員 吉田委員		
欠 席 委 員	新井副委員長 大久保委員		
事 務 局 員	鈴木公民館長 渡邊庶務係長 吉楽主任 大久保事業係長 松本貫井南分館長		
貫井北・東分館 事業運営受託者	N P O 法人市民の図書館・公民館こがねい 村山分館長 鈴木分館長		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	1 名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 第 7 回、第 8 回審議会の会議録の承認について</p> <p>3 報告事項</p> <p>（1）東京都公民館連絡協議会委員部会の報告について</p> <p>（2）第 2 7 期小金井市公民館企画実行委員名簿</p> <p>（3）公民館事業の報告について</p> <p>4 協議事項</p> <p>なし</p> <p>5 審議事項</p> <p>公民館事業の計画について</p> <p>6 その他</p> <p>「小金井市公民館中長期計画」及び「小金井市行財政改革 2 0 2 5」 に基づく公民館緑分館の委託化等について</p> <p>7 閉会</p> <p>資料</p> <p>資料 1 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告書</p> <p>資料 2 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告書</p> <p>資料 3 第 2 7 期公民館企画実行委員名簿</p> <p>資料 4 公民館事業の報告</p> <p>資料 5 公民館事業の計画</p>		

会 議 結 果

次第1 開会

次第2 第7回、第8回審議会の会議録の承認について

【渡邊委員長】

- ・ 第7回、第8回審議会の会議録については、承認ということでよいか。

(異議なし)

次第3 報告事項について

(1) 東京都公民館連絡協議会 委員部会の報告について

【嵯峨山委員】

- ・ 第4回委員部会が7月28日に国分寺市本多公民館で行われた。
- ・ 10月1日に委員部会の第1回研修会が開催される。対象者は都公連加盟市の公運審委員、公民館職員、社会教育関連施設利用者となっており、コロナ渦における公運審の動きと、見えてきた新しい公民館の在り方がテーマとなっており、委員の皆さんにもぜひ、参加して欲しい。基調講演は国分寺市で、狛江市、国立市、東大和市が発表する。その後、グループワークを行う予定である。
- ・ 令和5年2月4日は都公連の研究大会を開催する予定であるが、現段階でテーマは未定である。

【吉田委員】

- ・ 第5回委員部会が国分寺市本多公民館で8月25日に開催された。委員部会委員となった後、初めての参加となった。
- ・ 都公連加盟市の公民館調査を実施予定であり、今後、ホームページ公表に向けて、準備しているとのこと。

【嵯峨山委員】

- ・ 都公連加盟市の公民館調査は、Wi-Fi 環境とバリアフリーの項目を追加予定ということである。
- ・ 福生市で公民館ハンドブックを作成したと情報提供があった。これは一般公開しているものではないが、市同士であれば情報提供をしてくれるようである。
- ・ 国立市では「コロナ拡大時期における教育機関としての公民館事業について」ということで、答申を行ったそうだが、非常に分厚い内容ということで、本市の公民館としては、引き続き、実効性のあるコロナ対策に取り組んでいただければと感想を持ったところである。
- ・ 他市の事例として、公運審のオンライン参加の場合は欠席扱いになる事例もあるようであるが、本市の状況はどうか。

【渡邊庶務係長】

- ・ 委員研修について、鈴木東分館長から出席意向をいただいているところであるが、公民館職員及び企画実行委員にも情報提供を行い、参加者を募りたい。

- ・ 都公連加盟市の公民館調査は、事務局において処理する。
- ・ 福生市の公民館ハンドブックについては、まずは、問い合わせてみたい。

【鈴木公民館長】

- ・ 昨年度、公運審でもオンライン開催をしているが、当然ながら出席扱いとしている。オンライン開催の感想としては、通信環境などが安定しないことなどもあり、音声も途絶えるなど若干やりづらさはあった。コロナの感染状況にもよるが、現時点では、皆さんに集まってもらい開催したいと考えている。

次第3 報告事項について

(2) 第27期公民館企画実行委員名簿

【大久保事業係長】

- ・ 第27期小金井市公民館企画実行委員の改選を行い、各館6人、合計30人の方々に委嘱したので報告させていただく。裏面に年齢構成等を記載している。詳細は資料をご覧ください。

【川原委員】

- ・ 企画実行委員に再任はできるのか。
- ・ 年齢構成を見ると、若い世代が増えてきている印象はあるが、まだ高齢の方の割合が多いように感じる。男女比率はだいぶバランスが良くなってきたのではないかとと思う。

【大久保事業係長】

- ・ 1期2年であり、2年間空いていれば、再任を妨げるものではない。

【渡邊委員長】

- ・ 働いている世代なので仕方がないとは思いますが、50代未満の男性が1名というのは、少し淋しい気がする。男女比や年齢構成はバランス良くなっていただくのが理想だと思うが、実際は難しいのではないかと。

次第3 報告事項について

(3) 公民館事業の報告について

【大久保事業係長】

- ・ 今回、5館から20講座について、報告させていただく。
- ・ コロナ感染症対策として、募集人数の制限、換気の徹底、参加者の連絡先を把握するなど、一定の対策を取って講座を実施したところである。
- ・ 子どもの人権講座「あなたは大切にされていますか？～私が私であるために～」は、毎年、本館で実施している講座で、6回シリーズとなっており、6回目は毎回講座全体を振り返って参加者で振り返りを行っている。6月2日から7月2日まで約1か月間に渡り、様々な子どもの人権に関わるテーマで行っている。今回は、ヤングケアラーや不登校についての講座を行った。第4回「不登校の時代背景と新型コロナ」に関する講座は大変好評をいただいた。

- ・ 市民講座「身近な人間関係を考える」は、アサーティブコミュニケーションをテーマにしている。アサーティブとは、自己主張するという意味であるが、ここでいう自己主張とは自分の主張を一方向的に述べるのではなく、相手を尊重しながら適切な方法で自己表現を行うことを指しており、そういった内容の講座である。
- ・ 成人学校「己書で楽しく暑中見舞いを描いてみよう」は、己書という独特な書体を用いたもので、今回は暑中見舞いを参加者に書いてもらったものである。本館でも人気のある講座となっている。

【松本貫井南分館長】

- ・ 市民講座「夏休み直前 家族で考えてみよう 親子アンガーマネジメント」は、自分の怒りを見直して、その対処方法などを親子で考えてみようという講座である。
講師から子どもの参加者への講義はテキストを使いながら、対話型のアドバイスをしながら行い、親の参加者に対しては、怒りというものの説明と怒りの気付きとアドバイスを行っていただいた。参加者には日々の怒りについての対処法を学んでもらうことができた。
- ・ 市民講座「親子で社会科見学～笛木醤油と川越市立博物館～」は埼玉県の笛木醤油と川越市立博物館にマイクロバスで訪問した。募集12名に対して応募24名と多くの申込みがあり、中には祖母と孫での参加もあった。笛木醤油工場では、昔ながらの伝統的な作り方で、醤油を桶で作っており実際の作業を見ながら説明を受けることができた。川越市立博物館は写真のとおり、黒い蔵造りの建物や建物の作り方、川越の町の歴史などについて、博物館の学芸員から説明を受けて学習することができた。
- ・ 成人学校「ボディメイク教室」は、昨今、トレーニングを行いたいという若者が増えてきているが、見よう見まね、自己流でやっている方が非常に多いと感じている。私自身もトレーニングをしていることもあり、しっかりと事前学習を行って知識を学んだうえで、実践する必要があると思い、実施した講座である。
今回は、市と連携協定を結んでいる東京工学院専門学校にトレーニング室をお借りして、講師の先生とともに同専門学校の学生も一緒になって実践した講座である。募集10名に対して倍ぐらいの応募があった。参加者の平均年齢が47.5歳ということでもう少し若い世代にアピールできればという反省点もあったが、引き続き、東京工学院専門学校と連携した講座を企画したいと考えている。
- ・ 成人学校「仲秋の名月に飾ろう 正絹のうさぎ飾り」は着物などの端切れを使ってウサギの飾り物を製作した。全2回の講座で、最後、完成までに至らない参加者もいたが、参加者は一生懸命、取り組んでいた。参加も40代から80代ということで幅広い世代の方から応募があった。

【鈴木東分館長】

- ・ 「親子工作教室よく当たるゴムてっぼうを作ろう」は夏休み前に行った講座であるが、親子が協力し合ってゴムてっぼうを作るということで、紙コップで作った的当てゲームなどを行い、大変盛り上った。講座では、ものづくりの楽しさを体験してもらったと思う。
- ・ 「第35回東センターまつり プレイベント フルートとアコーディオンのサマーコンサート」は、例年、センターまつりで実施していたものであるが、コロナの影響

等を踏まえ、別日にイベントとして行った。親子連れの方々にも多く参加していただき、非常に好評だった。

- ・ 「第35回東センターまつり」は3年ぶりに夏に開催した。コロナが拡大している時期だったため、感染症対策に十分注意して行った。展示部門は7団体、舞台部門は10団体の参加があり、昨年度よりも参加団体を増やして実施できた。天気が良かったこともあり、来館者は昨年度より1.5倍程度増えた。

【大久保事業係長】

- ・ 緑分館長の山崎が欠席のため、大久保から御説明させていただく。
- ・ 子ども体験講座「金属って燃える？～線香花火を作ろう！～」は、8月7日（日）に開催し、応募定員20名のところ、63名もの応募があった。「夏休み」、「線香花火」という季節感のある講座を計画したことにより、多くの応募を頂いたと思う。様々な種類の金属の燃焼実験を行い、その炎の色の違いを子どもたちが体験し、青色や緑色の炎に子どもたちは目を輝かせて大変喜んでもらうことができた。保護者同伴とすると、保護者に甘えてし、子ども同士で工夫する機会が減ってしまうことから、敢えて保護者の同伴や保育なしで、子どもだけでの参加とした。講座当日は、少し年上の子どもが年下の子供を手伝って助け合うという様子も見られ、そういった点でも大成功の講座であった。
- ・ 成人学校「はがきに水墨画を描こう」は、全4回講座で、水墨画家を講師にお招きし、基本的な線や濃淡の書き方からスタートして、実際に様々な絵を描くまでの内容で行った。大変、人気の講座で15人の募集に対して27人の応募があった。白いはがきに墨の濃淡だけで風景を切り取ることの難しさや奥深さに、参加者からも、とても充実した時間を持てたと好評をいただいた。

【村山貫井北分館長】

- ・ 貫井北分館では年間40回から50回程度の講座を開催しているが、夏休み時期ということもあり、非常に講座の多い時期であった。夏休み時期ということもあり、比較的小学生、中学生が参加しやすい講座を実施した。この時期はコロナ感染が爆発的に伸びている時期で、講座実施の際は、ガイドラインや講師との打合わせ、職員同士のやり取りなど、その時々々の感染状況に応じた適切な感染対策を講じて、安全、安心に十分配慮して講座を開催した。
- ・ 「世代間交流の推進 はじめてのマンガイラスト講座」は、毎年非常に人気のある講座で応募も多数あり、マンガ、イラストなどの個人でできるものを感染に気をつけながら、実施した。講師の先生から講評をいただきながら参加者同士の一体感を醸し出すというような形で開催することができた。
- ・ 今回、報告する講座は、マンガイラスト講座や浴衣の着付けなど、ワーク体験として実技を通して開催する講座や、「コロナ禍を経験して考える 人と地域がつながる共生社会」講座という人権問題に踏み込んだ講座まで幅広く実施した。この共生社会の講座に関しては、当事者の方々から、リアルに感じたことをお話ししていただく機会もあり、非常に有意義な講座だったと思う。公民館の講座として、青年教育講座のようなお楽しみ講座と、人権講座などのバランスが大切だと感じた。
- ・ 「健康づくり講座 はじめての俳句～夏を詠んでみよう」は、これはコロナが始ま

ったときから試みた講座で、なかなか対面することが難しい状況の中で、ICT機器の使用が困難な方々が参加するには、どうしたらいいのかと考え、通信教育のような往復はがきを活用した講座を実施したものである。その結果、ICTが苦手な方々であっても公民館の事業に参加できるというメリットを非常に感じる事ができた講座であった。オンライン講座や、こういった往復はがきでの講座は、このコロナ禍にあって、新たに出てきた新しい取組みであるが、公民館という箱ものもありますので、集まって参加する講座と集まらずに参加できる講座と、この辺りのバランスも大事だと感じている。

- ・ 図書館貫井北分室連携事業「第23回ビブリオバトル」は、これは小学生から高齢者の方まで幅広い世代が交流できる講座である。開館当初から長く開催している講座で、最初は小さかったお子さんが毎回参加しており、職員としても、その発表などを通じて成長ぶりを感じる事ができた。

【浅野委員】

- ・ 緑分館の「線香花火を作ろう！」は、とてもすばらしい企画だと思った。小学校は基本的に、8月中は、地域、家庭で過ごすことが多くなる。そういう時期に地域の公民館で、このような取組みを行い、たくさんの応募があったということは嬉しく思う。子ども達は科学実験に非常に興味あり、内容的にも素晴らしい企画だし、親子ではなくて子どもだけの参加にしたという点も非常に評価できる。小学校でも、縦割り班活動というのを年間を通して行っており、6年生の子どもたちがリーダーになって、数人のグループで活動している。普段の6年生だけの活動の中ではリーダーにならないような子どもであっても、活動の中で、リーダーという立場に置かれると頑張ることができ、自分より下の学年の子ども達の面倒を見ようとする。そのような機会、経験というのはすごく大切に、学校としても取り組んでいるところであり、公民館でも子ども同士の参加で上級生が下級生を見るというのは、すごく良い取組みだと思った。親子で参加すると絶対、親は口を出したくなるし、手を出したくなる。子どもはやってもらっちゃう。子どもだけというのはすごく良い取組みだし、継続してこのような機会を作っていただけると本当にありがたいと思った。

【嵯峨山委員】

- ・ 貫井南分館の「ボディメイク教室」は、健康寿命が叫ばれる中で、7回も実施していることは凄いと思った。東京工学院専門学校とも連携しつつ、午後7時から午後9時という時間帯は、若い世代も参加しやすい。平均年齢47.5歳というのは公民館の事業としては若い世代の方々に参加してもらえた講座だったのではないかと思う。もう少し若い世代、本当に20代、30代がもう少し参加できたらとは思いますが、非常に面白い講座だと思った。

【渡邊委員長】

- ・ 私自身もトレーニングを行っていたことがあるが、短期間で終わってしまうことが多い。長く継続的に続けられるような講座の予定はあるか。

【松本貫井南分館長】

- ・ 予算の関係もあるため断言は難しいが、来年度以降も継続したいという思いはある。時間帯なども工夫して、学生など若い世代の方々に参加してもらえるよう工夫したい。私自身もトレーニング関係の資格を持っており、気軽にご相談くださいとは参加者にも伝えてある。

【川原委員】

- ・ 「ボディメイク教室」のように、若い学生から教えてもらえると子ども達にも喜んでもらえると思う。今回、工学院と連携して講座を実施できたのは素晴らしい一歩だと思う。継続的に連携事業を実施して欲しい。
- ・ 「子どもの人権講座」は、何度も参加させていただいており、素晴らしい内容の講座だと思う。子どもの人権講座は企画段階から準備会を立ち上げていると思うが、準備会の有無は何か規定があるのか。準備会があると、企画段階から講師や内容などについて意見を言うこともできる。
- ・ 緑分館の「線香花火を作ろう！」は、興味を持っている方も多いと思うので、他の公民館でも実施して欲しい。

【大久保事業係長】

- ・ 準備会について、明確な規定はないが、市民アカデミーや高齢者学級など、開催回数が多い講座は準備会を立ち上げているケースがある。これらの講座については、引き続き、市民の皆さんにも参加していただき、より良い講座が企画できるよう取組みたい。

【嵯峨山委員】

- ・ 貫井北分館の俳句の講座について、これは今までなかった手法じゃないかなと思う。コロナ禍だからということじゃなく、郵送でも参加できるので、お仕事をされている方、それから市内在勤の方でも参加することができる。時間に関係なく参加できるというのは、今後の公民館の在り方として非常に参考になる取組みではないかと思った。

【渡邊委員長】

- ・ 貫井北分館の「初めてのマンガ、イラスト講座」も、東京工学院専門学校の元講師の方が担当されている。東京工学院はアニメーション科や、建築関係、キャビンアテンダントの養成、秘書科など色々な学部学科がある。発声練習をしたり、訓練するような場所もあるので、普通の学校とは違った専門的な部門もあり、一般の大学を卒業した人でも新たに入学するような場合もあるというふうに聞いている。非常に有意義な専門学校でもあるので、地域としては有効活用できる可能性は高いと思う。

【川原委員】

- ・ 東京工学院専門学校との連携とあったが、小金井市ではコミュニティスクールの取組みが始まっており、専門学校、公民館、児童館などの地域と学校が連携して、地域全体で子育てをしようという流れになっていると思う。

【浅野委員】

- ・ コミュニティスクールについては、各校が手探り状態で、地域の実態も多種多様である。今後、どのように取り組んでいくかは、各学校で模索している最中である。

次第5 審議事項

公民館事業の計画について

【大久保事業係長】

- ・ 市民アカデミー（秋季）は市民公募の準備会を組織して企画運営する講座である。詳細は資料5別紙に記載している。
- ・ 「LINEを便利に使ってみよう！」はITサポートボランティアによる講座である。

【松本貫井南分館長】

- ・ 成人学校「楽しくトレッキング」は、新緑の時期に続いて、事前学習を行ったうえで、紅葉の時期に桧原村にある都民の森でトレッキングする講座である。
- ・ 市民講座「アンガーマネジメント」は、親子アンガーマネジメントに続いて、大人を対象とした講座である。
- ・ 市民講座「山本有三を知る」は、昨年度の太宰治に続いて、三鷹にある山本有三記念館学芸員を講師に迎えて、2回シリーズの講座である。次年度以降も文学に限らず、人物シリーズということで企画したいと考えている。

【鈴木東分館長】

- ・ 「簡単かわいいハロウィンラッピングワークショップ」は、秋の行事として浸透してきたハロウィンのラッピング講座を実施する。保育付き講座となっている。

【大久保事業係長】

- ・ 緑分館長の山崎に代わり説明させていただく。
- ・ 国際交流イベント「激しく、楽しく、鮮やかなモンゴルの世界」は全4回講座である。1年の大半をモンゴルで過ごしているフリーランスライターの方を講師に迎え、モンゴルの魅力を大いに語っていただくとともに、モンゴルの方による馬頭琴の演奏も計画している。
- ・ 2件目の成人学校「多摩の縄文時代」は日本考古学協会の方を講師に迎え、最新の縄文時代の研究や縄文時代の多摩地域について講義していただく。全3回講座を計画しており、1回目と2回目は座学を行い、3回目は山梨県にある考古学博物館にバスで行き野外学習を行う予定である。座学に加えて実際に、博物館で土器や様々な出土品を見ることで、より深い学びが期待できる講座となっている。

【村山貫井北分館長】

- ・ 「防災食を活用！作って楽しむ きたまち食堂 part 2」は、コロナ禍前は非常に人気のある講座で、貫井北分館の生活室で実施していたが、コロナ感染症の影響もあり、実施できない期間が続いていた。今回は、防災食を使って作るきたまち食堂ということで、災害に関してはコロナに関係なく、いつ起こるか分からないということもあり、

防災食を使った講座として企画したものである。

- ・ 「文化祭、学園祭ポスター掲示」は、これは講座ということではなくて環境づくりの一環として実施するものである。貫井北分館には誰でも使用できるフリースペースがあり、毎日多くの学生で賑わっている。このフリースペースを活用して、近隣の学園祭と文化祭のポスターを収集して掲示するという企画である。ポスターは掲示期間後、地域資料として、図書館で保存する予定である。このような取組みを通して、先生方との意見交換、地域との連携なども目的としている。
- ・ 「陶芸入門教室」は、大変人気の講座となっており、地域の方に講師をお願いしている。今年度は保育付き、週末開催の講座として募集したところ、申込者の年齢層もぐっと下がって20代から40代の方からも多数、ご応募いただいている。

【坂内委員】

- ・ 本館の「市民アカデミー（秋季）」は、一括での申込みなのか。単発での申込みもできるとよい。定員が10名となっているが、コロナの影響で人数を制限しているのか。内容、講師ともに素晴らしい内容なので、もう少し定員の枠を増やせないか。参加者同士でディスカッションするのであれば、10名程度が妥当とは思いますが、講義形式であればもう少し増やしてほしいと思う。

【大久保事業係長】

- ・ 定員枠の増については、担当と検討する。

【鈴木公民館長】

- ・ 市民アカデミーについては、内容、講師ともに非常に充実した講座を企画できたと思っており、より多くの方にご参加いただきたいと考えている。一方でコロナ対策を適切に実施する必要もあるため、ご意見を踏まえ、課内で検討させていただきたい。

【本川委員】

- ・ Wi-Fi 環境について、改めて伺いたい。また、どれくらいの人が一斉に使用することができるか。

【鈴木公民館長】

- ・ 現状、すべての館でWi-Fi 環境は整備済みである。ただし、緑分館、東分館、貫井北分館は地域防災計画上の施設に位置付けられていることから防災担当である地域安全課で設置したものである。本館と貫井南分館は公民館で設置している。Wi-Fi の使用は1回1時間で2回まで接続できる。ただし、部屋によって電波が届きづらい場所もある。同時接続は、おおよそ50台程度が一斉使用できる。

【川原委員】

- ・ 貫井南分館のトレッキングの人数はマイクロバスの定員人数ということか。

【松本貫井南分館長】

- ・ コロナ対策と現地でのトレッキングのしやすさなどを考慮した人数である。

次第6 その他

(1) 「小金井市公民館中長期計画」及び「小金井市行財政改革2025」に基づく公民館緑分館の委託化等について

【鈴木公民館長】

- ・ 「小金井市公民館中長期計画」及び「小金井市行財政改革2025」に基づく公民館緑分館の委託等については、第7回公運審において、小金井市行財政改革2025（案）について説明させていただいた後、令和4年8月に行財政改革2025が策定された。
- ・ 行革2025では貫井南分館と緑分館の委託化について記載しているところだが、以前にも説明したとおり、まずは緑分館の委託に向けた検討を進めたいと考えている。具体的には11月9日開催予定の第11回公運審において、緑分館の委託について諮問する予定である。緑センターにある図書館緑分室の委託についても図書館運営協議会において同時期に諮問する予定となっており、図書館とも足並みをそろえて進めていく予定である。スケジュール等については次回以降の公運審でお示ししたい。
- ・ 公民館使用団体未利用時間の使用料有料化についても、行革2025に記載されている。公民館中長期計画では、公民館使用団体未利用時間の使用料有料化という答申を頂いたところであるが、第33期の答申では徴収額、徴収方法についてはそれに掛かる経費、徴収した金額の用途等との整合性を図ることとされていることから、市において公民館使用団体の未利用時間帯の件数等を確認したところ、年間40件程度、額として年間2万円から3万円程度の試算結果となった。使用料の手続き等に要する事務手続き等に要する経費を考慮すると費用対効果の面からも、再度の検討を考える必要があるのではないかとともに考えている。
- ・ なお、公民館の過去の経過等を調べたところ、公民館を設置した昭和28年から昭和46年までの間は公民館使用料を徴収していたということ事実を確認したことも含めて、まずは、報告をさせていただく。

【渡邊委員長】

- ・ 緑分館の委託を先行して検討するということがあったが、答申を出すに当たり、緑分館の現地を確認するためにも、緑分館で公運審を開催することがあってもよいのではないかと。
- ・ 使用料について、シミュレーションの結果、年間3万円程度ということで、今後、検討するかについては、議論の余地がある。

【渡邊庶務係長】

- ・ 現在、11月に諮問し、年度明けくらいには答申をいただくようなスケジュールで準備を進めている。1月の公運審を緑分館で開催できるよう準備を進めたい。

【川原委員】

- ・ 有料化の発端は何か。

【鈴木公民館長】

- ・ 小金井市第3次行財政改革大綱の「公民館の有料化の検討」になると思う。この中で「受益者負担の適正化を図るため、公民館使用の有料化を検討する。」とある。
- ・ 中長期計画では、未利用時間帯の有料化という表現となっているが、要は公民館登録団体が使用していない時間帯については、団体登録していない方であっても申請をすれば、1件利用として公民館施設を使用できるという建てつけになっている。

【本川委員】

- ・ まずは、公民館使用料の過去の経過等も含めて資料として提示していただきたい。

【渡邊庶務係長】

- ・ 次回の公運審に提出させていただく。

次第6 その他

(2) その他

【坂内委員】

- ・ 先日、三者合同研修会の開催通知をいただいたが、通知はメール、回答は電話となっていた。事務作業を効率化するためにも、メールでのやり取りを基本に考えて欲しい。またコロナ禍でオンラインなども一定進んだものもあると思われるので、ITの活用というものは、引き続き、進めていただきたい。

【渡邊庶務係長】

- ・ 三者合同研修の申込みについてはお詫び申し上げる。
- ・ 現在、講座の申込方法については、メールや所定のフォームを活用した方法も検討しているところである。お示しできる段階になったら、公運審の皆さんにも報告させていただく。

【渡邊庶務係長】

- ・ 次回は10月12日（水）午前10時から、市役所第二庁舎8階801会議室で開催する予定である。

【渡邊委員長】

- ・ 以上で第9回審議会を終了する。

— 了 —

第36期小金井市公民館運営審議会第9回審議会

とき：令和4年9月14日（水）午前10時

場所：小金井市役所第二庁舎8階801会議室

次 第

1 開会

2 第7回、第8回審議会の会議録の承認について

3 報告事項

- (1) 東京都公民館連絡協議会 委員部会の報告について（資料1、2）
- (2) 第27期公民館企画実行委員名簿（資料3）
- (3) 公民館事業の報告について（資料4）

4 協議事項

なし

5 審議事項

公民館事業の計画について（資料5）

6 その他

「小金井市公民館中長期計画」及び「小金井市行財政改革2025」に基づく公民館緑分館の委託化等について

7 閉会

第36期小金井市公民館運営審議会第9回審議会用資料

都公連委員部会運営委員会報告

令和4年月9月14日

公運審委員 嵯峨山 康夫

1. 令和4年度第4回委員部会運営委員会 令和4年7月28日(木)14時～16時40分
国分寺市立本多公民館

報告・協議事項

- (1) 令和4年度委員部会第1回研修会について

実施 10月1日(土)13時30分～16時 本多公民館ホール

(テーマ)「コロナ禍における公運審の動きと見えてきた新しい公民館のあり方」

- ① 基調発表 「令和3年6月提出の答申を含む公運審の取組」

国分寺市

- ② リレー発表 「現在、答申を作成している公運審の取組み」

狛江市・国立市・東大和市

- ③ シンポジウム 国分寺市・狛江市・国立市・東大和市

ファシリテーター 倉持伸江東京学芸大学准教授

- ④ グループワーク・発表

参加者同士で取組を話し合い、交流する。

・次回(8/25)役割担当を決定する。

・10/1参加者(各市4人程度)名を9/22までに事務局へ連絡する。

- (2) 都公連研究大会第4課題別研修会

10/1 第1回研修会終えての課題をテーマにしたい(最終的に10月中に決定)

[第 3 6 期小金井市公民館運営審議会第 9 回審議会資料]

都公連委員部会報告 : 令和 4 年 9 月 1 4 日 公運審委員 吉田 孝

令和 4 年度第 5 回委員部会 運営委員会 (定例会)

日時・会場 : 令和 4 年 8 月 2 5 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0 国分寺市本多公民館

参加 : 1 1 市公運審委員 記録 : 西東京市

1、報告事項

都公連企画委員会 (7 月 29 日)

2、協議事項

1) 令和 4 年度第 4 回委員部会 (7 月 28 日) 委員会議事録

2) 令和 4 年度委員部会 第 1 回研修会 (10 月 1 日)

本多公民館ホール 13 時 ~ ・ 役割分担 ・ その他確認事項

→ 第 9 回公運審において出席者を決定する。(嵯峨山委員、吉田委員出席予定)

3、1 1 市公民館調査の各調査項目の検討

従来の基本情報と今回の基本情報と比較。追加・変更等協議

4、都公連研究大会 第 4 期課題研修

5、情報交換

各市発行の「公民館」パンフレットを基に各委員より説明と質疑応答

・ 次回日程 : 9 月 29 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 国分寺市本多公民館 ・ 記録 福生市

第27期小金井市公民館企画実行委員名簿

No.	館名	氏名	新/再	任期
1	本館	近江 淳	新任	R4/7/21～R6/7/20
2		大木 健至	新任	R4/7/21～R6/7/20
3		菅沼 七三雄	新任	R4/7/21～R6/7/20
4		照井 耕之助	3期	R4/7/21～R6/7/20
5		藤原 美知江	3期	R4/7/21～R6/7/20
6		武藤 美奈子	新任	R4/7/21～R6/7/20
7	貫井南分館	阿部 光子	3期	R4/7/21～R6/7/20
8		今村 誠	3期	R4/7/21～R6/7/20
9		大野 芳輝	3期	R4/7/21～R6/7/20
10		金ヶ江 博紀	3期	R4/7/21～R6/7/20
11		齊藤 美恵子	2期	R4/7/21～R6/7/20
12		高橋 陽子	3期	R4/7/21～R6/7/20
13	東分館	角田 麻美	新任	R4/7/21～R6/7/20
14		舟川 宜仁	新任	R4/9/1～R6/7/20
15		宮國 愛里	新任	R4/7/21～R6/7/20
16		矢部 響子	3期	R4/7/21～R6/7/20
17		山木 耕太郎	新任	R4/7/21～R6/7/20
18		渡部 靖	新任	R4/7/21～R6/7/20
19	緑分館	赤尾 八朗	2期	R4/7/21～R6/7/20
20		東 弥司良	3期	R4/7/21～R6/7/20
21		大蔵 芳夫	2期	R4/7/21～R6/7/20
22		荻込 美津代	新任	R4/7/21～R6/7/20
23		後藤 愛子	新任	R4/7/21～R6/7/20
24		宮本 一	2期	R4/7/21～R6/7/20
25	貫井北分館	岡村 寛美	新任	R4/7/21～R6/7/20
26		塚田 昭子	新任	R4/7/21～R6/7/20
27		土屋 文雄	新任	R4/9/1～R6/7/20
28		原 幸恵	新任	R4/7/21～R6/7/20
29		本多 隆志	2期	R4/7/21～R6/7/20
30		森 千尋	2期	R4/7/21～R6/7/20

第27期小金井市公民館企画実行委員概要

- 1 人数 30人
- 2 任期 令和4年7月21日～令和6年7月20日
追加募集で委嘱された委員 (No.14 ならびにNo.27) の始期は、令和4年9月1日です。

3 男女別数 男性16人 (53.3%)、女性14人 (46.7%)

4 平均年齢等 平均65.8歳 (男性70.3歳、女性60.6歳)

最高年齢 84歳

最低年齢 37歳

年代別男女別人数

	男性	女性	合計
30歳～39歳	0人	1人	1人
40歳～49歳	1人	3人	4人
50歳～59歳	0人	2人	2人
60歳～69歳	5人	4人	9人
70歳～79歳	8人	4人	12人
80歳以上	2人	0人	2人
合計	16人	14人	30人

5 新任・再任別 新任 15人 (50%) 再任 15人 (50%)

公民館事業の報告

公民館名	事業名		頁	
本館	子どもの人権講座「あなたは大切にされていますか?～私がわたしであるために～」		1	
	市民講座「身近な人間関係を考える」		2	
	成人学校「己書で楽しく暑中見舞いを描いてみよう」		3	
貫井南分館	市民講座	「夏休み直前 家族で考えてみよう親子アンガーマネジメント講座」	4	
		「親子で社会科見学～笛木醤油と川越市立博物館」	5	
	成人学校	「ボディメイク教室」	6	
		「中秋の名月に飾ろう正絹のうさぎ飾り」	7	
東分館	成人学校 子ども子育て支援講座「親子工作教室 よく当たるゴムてっぽうを作ろう!」		8	
	利用団体のつどい	「第35回東センターまつり プレイベント フрутとアコーディオンサマーコンサート」	9	
		第35回東センターまつり	10	
緑分館	子ども体験講座「金属ってもえる?～線香花火を作ろう!～」		11	
	成人学校「はがきに水墨画を描こう」		12	
貫井北分館	青年教育講座	世代間交流の推進	「はじめてのマンガイラスト講座」	13
			「ちょっとスペシャルなフラワーアレンジメント」	14
			「木育ガール キキちゃんとマイ木琴を作ろう!～木育×STEAM教育～」	15
	成人学校	子ども・子育て支援「自分も家族も大切にするコミュニケーション」		16
		健康づくり講座「はじめての俳句～夏を詠んでみよう」		17
	男女共同参画講座「コロナ禍を経験して考える 人と地域がつながる共生社会」		18	
	芸術のつどい 地域の芸術文化活動支援「気軽に和体験ー浴衣の着付けと日本舞踊」		19	
	図書館貫井北分室 公民館貫井北分館連携事業「第23回ビブリオバトル inぬくきた」		20	

本 館

子どもの人権講座

あなたは大切にされていますか？ ～私がわたしであるために～

目 的 「子どもの人権」という観点から、子どもたちを取り巻く現代の様々な問題を取り上げる。子どもたちが他人を尊重し、互いに認め合う心を育てていくために、大人たちができることを考える。

日程・内容・講師

回	日程	内容	講師
①	6/2(木)	ヤングケアラーについて知り、地域でできることを考える	加藤 雅江さん(杏林大学教授)
②	6/4(土)	やり過ぎ教育から見えてくる子どもの育ちとは	神林 俊一さん(一般社団法人ジェイス理事)
③	6/11(土)	おうちでできる性教育、地域で考える性教育	岸本 祐子さん(保育士、産後ライフアドバイザー)
④	6/29(水)	不登校の時代背景と新型コロナ	田中 哲さん(児童精神科医師)
⑤	7/2(土)	子どもの居場所と子どもの権利—自分をとりもどすために	喜多 明人さん(早稲田大学名誉教授、小金井市子ども子育て会議委員)
⑥	7/2(土) 12時10分～ 13時10分	講座全体を振り返っておしゃべり・交流会	なし

⑥を除いていずれも午前10時から正午まで

場 所 公民館本館 学習室B

募集方法 市報5月1日号、ホームページ、ツイッター、チラシ(市立小中学校の全児童及び全生徒に配布)、ポスター
往復はがき、またはEメールで申し込み

対 象 市内在住・在学・在勤の方

人 数 各回38人(うち8人は別室で音声のみ聴講・多数抽選。抽選後、空きがある場合は、定員に達するまで申込順で受け付けた。)
延べ参加者数128人(申込総数153人)

保 育 あり(保育対象者4人)

担当企画実行委員 照井 耕之助、宗像 高子

担当職員 大久保 裕広

準備会 会議6回(うちオンライン会議1回) 延べ参加者37人

本 館

市民講座

身近な人間関係を考える

目 的 日々の生活に直接関係する地域社会でのコミュニケーションの在り方を考えることを目的とする。

日 程 令和4年7月2日（土）午後2時から4時まで

内 容 地域社会に必要なコミュニケーションの在り方の講義とワーク演習

講 師 柴田 悦子さん（NPO法人ウィメンズ・サポート・オフィス 連代表理事）

募集方法 市報6月1日号、月刊こうみんかん6月号、市HP、チラシ、ツイッター6月17日（必着）、往復はがきに住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を明記し、公民館本館「身近な人間関係を考える」係まで

人 数 募 集 20人（多数抽選） 応 募 10人
受 講 10人（男性4人、女性6人）

担当企画実行委員 岸川 公一、宗像 高子

担当職員 金子 康幸

担当者感想 申込が思っていた以上に少なかったのは残念でしたが、受講者がアサーティブという言葉に関心をもってもらえたことが何よりでした。

参加者感想

- ありがとうございました。アサーティブといった言葉は聞いたこともあり、目指したい姿だなと思っていました。詳しく聞くことができよかったです。先生のご経験や具体的場面が頭に入ってきて、ふだんの生活に生かせそうだなという思いがわきました。
- よりよいコミュニケーションのとり方のベースを学ぶことができました。対人関係は、その相手との距離によっても変化していきます。なかなか理論通りにはいかないですがこれも学習ですね。
- コロナを機に自分を見直さなくてはいけないことに直面し、他人軸で生きることから離れるよう努力している最中だったので、アサーティブという考えはとても参考になりました。ありがとうございました。
- アサーティブの基本的な権利12コを知ることができてよかったです。アサーティブについて、もっと知りたいと思いました。

本 館

成人学校

己書で楽しく暑中見舞いを描いてみよう

目 的 「己書^{おのれしょ}」とは、筆ペンで絵を描くように文字を描く書で、誰でも味のある字が描けるようになり、字や絵に苦手意識のある人でも楽しむことを目的とし、様々な内容を学ぶ場をつくる講座とする。

デジタル時代の今だからこそ、己書の人の手による温かい文字の魅力に触れる良い機会となることもねらいとする。

日 程 7月7日（木）午後2時から4時まで

内 容 己書技法で、筆ペンで味のある字と絵の具使いも合わせながら暑中見舞いを描く

講 師 渡辺 早苗さん（日本己書道場公認師範）

場 所 公民館本館 学習室B

募集方法 市報6月1日号、月刊こうみんかん6月号、チラシ、ポスター、HP、ツイッターEメールまたは往復はがき（申込多数の場合、抽選）

対 象 市内在住、在勤、在学の方

人 数 募集 12人
応募 33人
受講 12人（男性 3人、女性 9人）

担当企画実行委員 生馬 一枝、藤原 美知江、照井 耕之助

担当職員 近藤 英里子

担当職員感想 前日まで受講者のキャンセルも出たが、キャンセル待ちも決めておいたことで欠員なく全員参加で終了でき、講師のお人柄もあり終始なごやかな講座となった。講師の指導が行き届くよう定員を12人と設定したが、従来の申込み方法に加えてメールでも申込み受付をしたこともあり、定員の3倍近くの申込みがあった点は今後の参考になり良かったと思う。

参加者感想 ○初めての己書勉強になりました。是非年賀状など描いてみたいです。
○気持ちの良い批評があり楽しく過ごせました。
○己書があること初めて知りました、楽しかったです。
○楽しく暑中見舞いを書くことができました。
○とても楽しかったです、ありがとうございます。家でも書いてみたいと思います。
○苦手な絵を書くので帰ろうと思ったがだんだん面白くなり受講して良かったです。
○わかりやすい指導で楽しかった。
○文字は想像通りでしたが、絵の描き方は教えて頂かないとわからなかったので参加できて良かったです。文字が重要なかもしれませんが、絵の方を重点的に学ぶ講座もあると嬉しいです、有難うございました。

貫井南分館

市民講座	「夏休み直前 家族で考えてみよう 親子アンガーマネジメント講座」
-------------	---

目的 自分の怒り方を見直し、対処法を学び夏休みを楽しく過ごすコツや怒り方のルールを家族で考えてみる。

日程 令和4年7月2日（土）午前10時～正午

内容 【怒りの機能】、【私たちが怒らせるものの正体】など具体的な講話、最近会った怒りの自己診断

講師 安藤 生奈さん（アンガーマネジメントコンサルタント）

場所 公民館貫井南分館 学習室A・B

参加費 200円（資料費）

募集方法 市報6月15日号、月刊こうみんかん6月号、チラシ、ポスター、市HP、ツイッター

先着順、電話または直接貫井南分館窓口まで

対象 市内在住・在勤・在学の親子（大人のみの参加可）

人数 募集 30人 応募15人（男性7人、女性8人）

受講 11人（男性5人、女性6人） 参加率36%

参加年代 40代 6人 幼稚園 1人 小2 3人 小3 1人、

担当企画実行委員 高橋 陽子、齊藤 美恵子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想 アンガーマネジメントに初めて触れる参加者が大半であった。

講座前半の授業参観方式で子どもワークでは、全員に目が行き届いて子どもの自由な意見を聞くことができていた。講座後半では、部屋を仕切り大人と子どもに分かれて行いどちらも集中して講座に取り組んでいるように見受けられた。

参加者感想 ○日々の怒りについて、ゆっくり考える機会となり、大変勉強になりました。自分の怒りも問題でしたが、子ども自身の怒りの気持ちには、より寄り添ってみたいと思います。入門講座も、今後検討してみたいです。

○自身や家族の怒り方を見直し、上手な怒り方をできるように、アンガーマネジメントを今後も意識して生活していきたいと思いました。ありがとうございました。

○とても参考になる講座でした。生活に寄り添う講座の提案はとてもありがたいです。今後ともよろしくお願いします。

○とてもいい講座でした。広めたいです、定期開催してもよいのでは。

貫井南分館

市民講座 「親子で社会科見学～笛木醤油と川越市立博物館」

目的 親子のコミュニケーションを図るとともに、夏休みの自由研究にも役立ててもらおう。

日時 8月24日（水）午前8時30分から午後5時まで

場所 笛木醤油 金笛しょうゆパーク
埼玉県比企郡川島町上伊草660
川越市立博物館
川越市郭町2-30-1



募集方法 市報7月15日号、月刊こうみんかん7月号、ホームページ、チラシ、ポスター、ツイッター

対象 市内在住、在学の小学生と保護者
(小学生のみの応募は不可。保護者同伴。)

人数等 募集 12人（多数抽選） 応募 25人 当選者 12人
(男性4人、女性8人)

担当企画実行委員 高橋 陽子

担当職員 伊藤 修

担当職員感想 募集人数に対し2倍の応募があり、関心の高さがうかがえた。参加者同士の交流もあり、コロナ禍での社会科見学ではあったが、楽しんでいただいたので、一定の成果はあったと思う。

参加者感想 ○親子で社会科見学という貴重な機会を頂き、ありがとうございます。普段は下の子に手がかかってしまうので、上の子と二人で参加出来て、それも小学生にふさわしい学びの場に行く事ができて、とても有意義でした。このような企画がありましたら、ぜひまた参加したいと思います。ありがとうございました。

○色々なものを経験できてよかったです。待つ時間が長くゆったりとしていて、自由に活動できて楽しかったです。

貫井南分館

成人学校

「ボディメイク教室」

目 的 これから本格的にトレーニングをしてみたいと考えている方に、最初の取り掛かりとして身体についての学習と軽めの実践を行い、ボディメイクメソッドを体験してもらう。若い世代の参加者を促すとともに、スポーツ施設のない坂下地域の方々への運動意識の醸成を促す。なお、坂下にある東京工学院専門学校との協力によりトレーニング室借用及び学生の支援を受けての実技となる。



日程・内容 いずれも木曜日の午後7時から9時

- (1) 6/16「筋トレメニューの作り方①」と実技（肩・胸の解剖学と自宅トレ）
- (2) 6/23「筋トレメニューの作り方②」と実技（脚・腕の解剖学と自宅トレ）
- (3) 6/30「栄養と食事・サプリメントテーション」と実技（背中・腹の解剖学）
- (4) 7/ 7「ジムでの筋トレの実際①」（胸・肩・三角筋）
- (5) 7/14「ジムでの筋トレの実際②」（脚・腹）
- (6) 7/21「ジムでの筋トレの実際③」（背中・二頭筋）
- (7) 7/28「ジムでの筋トレの実際④」（トレ室内で自作メニューの実践）

講 師 鈴木 徳年さん（東京ボディビル・フィットネス連盟常任理事）

と ころ 公民館貫井南分館学習室A・B及び東京工学院専門学校地下トレーニング室

募 集 市報5月15日号、月刊こうみんかん5月号、チラシ、ポスター、市HP、
ツイッター ※応募は往復はがき及びメール。

対 象 高校生以上の市内在住者 10人（多数抽選）

人 数 募集 10人 応募21人（男性9人、女性12人）平均年齢47.5歳
受講 10人（男性4人、女性6人） 延べ参加者 65人

担当企画実行委員 阿部 光子、今村 誠

担当職員 松本 浩明

担当職員感想 もう少し若い世代の参加が欲しかったが、参加者は皆さん真剣に取り組んでいて充実した講座となった。また、専門学校でトレーニングを学んでいる学生の支援を受け、指導実践の場として地域参加・交流となり充実したものとなった。

参加者感想 ○この場所で継続的に使えたら良いなと思いました。学生さんに指導していただけるのも地域に開かれて良いと思いました。意識が変わってきて家でも頑張りたいと思えました。

○筋肉、トレーニングの専門的な知識を深いレベルで教えていただけて参考になりました。大変楽しく取り組みましたし、運営側の関係者の方々及び先生のご対応が親切で明るく、おかげでリラックスして取り組みました。パンプアップを目指し、これからも筋トレを続けられるよう頑張ります。

貫井南分館

成人学校

「中秋の名月に飾ろう正絹のうさぎ飾り」

目的 市内で活動する講師を招き、ものづくりを通して地域コミュニケーションを図る。

日程 令和4年8月19日（金）・26日（金）（全2回）
午前10時～正午

内容 絹着物のはぎれ布を使い、うさぎの飾り物を製作する。

講師 盛田 真千子さん（絹細工の会代表）

ところ 公民館貫井南分館 学習室A

参加費 1,000円（材料費）

募集方法 市報7月15日号 月刊こうみんかん7月号 チラシ ポスター、
Twitter

往復はがき、Eメール（申込多数の場合、抽選）

人数 募集 10人 応募 22人（女性22人）

受講 10人（女性10人）

担当企画実行委員 高橋 陽子 阿部 光子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想

絹の着物を解いたものを使い、リメイク小物を作る講座。前回のつるし雛同様、年代幅広い年代の応募があった。縫物が趣味だという人から学生時代以来の裁縫だという人まで様々な裁縫スキルの参加者全員が講座終了までに完成させることができた。

最後に全員の作品を並べて他の人の作品を褒めあい、達成感を感じることができていたようだった。

参加者感想

- 途中大変苦労したが、最後まで作り上げることが出来、できた作品を見ると大変嬉しかった。ゆったりとした時間を過ごすことができた。
- 中学校以来の針仕事でした。大変ありがとうございました。
- 丁寧に教えていただけてよかった。宿題も楽しく家でできてよかった。先生のお手伝いの方も良かったです。
- 公民館講座初めての参加でしたが、楽しくさせて頂きました



東 分 館

成人学校 子ども 子育て支援講座	親子工作教室 よく当たるゴムてっぽうを作ろう!
---------------------	--------------------------------

- 目 的** 親子が協力しあってゴムてっぽうを完成させる体験を通して、新たな会話の機会作りを目的とします。工作の作業や、講師の作品に触れることで、ものづくりの楽しさを体感できる機会を設けます。
- 日 程** 7月16日（土） 午後2時から4時まで
- 内 容** 親子でゴムてっぽうを作り、その作品で競技を行う。講師が手作りした、個性あふれるゴムてっぽうの紹介と実演。
- 講 師** 中村 光児さん（日本ゴム銃射撃協会理事長）
- 場 所** 公民館東分館 学習室A・B
- 募集方法** 市報6月15日号、月刊こうみんかん6月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順 電話または直接
- 対 象** 市内在住・在学の小学生と保護者
- 人 数** 募集 8組 応募 8組
受講 7組（男性15人、女性3人）
- 保 育** あり（保育人数 2人）
- 担当企画実行委員** 熊野 賢三郎、矢部 響子
- 担当職員** 浅香 佳代子
- 担当者感想** 子どもたちが自分の作ったゴムてっぽうで、真剣に的を狙う熱気が伝わってきました。保護者の方も一体となって、楽しいイベントになりました。ふだんは参加の少ない現役世代の男性参加者が多く、このイベントが公民館の活動に興味をもっていたいただける機会になったと思います。
- 参加者感想**
- 子どもたちが満足そうで、参加してよかったです。
 - 子どもと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。
 - 親子で参加できて良かったです。
 - 思い描いた以上の内容でした。
 - くぎをつかうのが楽しかったです。作るのはむずかしいかと思ったけど、いがいにかんたんだった。
 - かみコップをたおすところがたのしかったです。しあいにかけて、くやしかったです。
 - 先生のとっぽうのしくみがおもしろかった。



東 分 館

利用団体のつどい

第35回東センターまつり プレイベント フルートとアコーディオンサマーコンサート

目 的 新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から3密を避けるために、東センターまつりのイベントを分散して行い、まつりのプレイベントという位置づけで開催します。小さな子どもからシニアまでの幅広い世代を対象に、フルートとアコーディオンの調べを楽しむ機会を提供することを通して、音楽への造詣を深めると共に、東センターまつりの開催に繋げていくことを目的とします。

日 程 6月30日（木） 午後2時から3時30分まで

講 師 フルート・アコーディオンユニット「風楽（ふうら）」
高橋 賀映子さん（フルート奏者）、渡井 輝美（アコーディオン奏者）

場 所 公民館東分館 集会室A・B

募集方法 市報6月1日号、月刊こうみんかん6月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順 電話または直接

対 象 市内在住・在学・在学の方

人 数 募集 25人 応募 25人
受講 19人（男性7人、女性12人）

担当企画実行委員 稲垣 芳樹、柏倉 明、熊野 賢三郎、高坂 憲二郎、
矢部 響子

担当職員 倉本 恵子

担当者感想 ご家族やご夫婦での参加も多数あるなど、小さなお子さんからシニア世代まで幅広い年代の方々にご来場いただきました。涼やかなフルートの音色と情熱的なアコーディオンの調べに、終始、会場は盛り上がりました。

参加者感想 ○素敵な演奏ありがとうございました。生演奏とトークを視覚、聴覚、体全体で楽しませて頂きました。選曲も良かったです。暑さを忘れる位、素晴らしかったです。
○生の演奏をきける貴重なひとときでした。絵本や手話などもとり入れて頂き、音楽の楽しみ方の幅が広がる気がします。

東 分 館

利用団体のつどい	第 3 5 回東センターまつり
-----------------	------------------------

目 的 利用団体が日頃の活動の成果を発表する場として、利用団体のつどい「第35回東センターまつり」を3年ぶりに夏開催とし実施します。
 なお、感染症対策から公民館主催イベントは別日程で企画しました。

日程・内容

日 程		内 容
6月30日 (木)	14:00~15:30	公民館主催プレイベント「フルーツとアコーディオン サマーコンサート」 演奏：風楽（ふうら）
7月9日 (土)	10:00~17:00	作品展示（書道・絵手紙・ハワイアンキルト・鉄道 模型・型絵染・ペーパークラフト・子ども作品）
	11:15~11:45	BGM同好会（楽器演奏）
	13:15~13:45	プアレファ（フラ）
	14:15~14:45	舞雀会（風流江戸芸かっぽれ）
	15:15~15:45	伊是名の会（琉球舞踊）
	16:15~15:45	琉球古典音楽研究会（歌・三線）
7月10日 (日)	10:00~15:00	作品展示(7/9と同内容)
	10:15~10:45	小金井市少年少女合唱団
	11:15~11:45	Julan's（バンド演奏）
	12:15~12:45	地Q人（インドネシア・アンクルン演奏）
	13:15~13:45	タリ・アナック（インドネシア舞踊）
	14:15~14:45	ドゥタ・ムラティ（ガムラン演奏）

場 所 公民館東分館
参加団体 17団体（展示部門7団体、舞台部門10団体）
延来場者数 約600人（プレイベントコンサートを含む。）
広 報 市報7月1日号（プレイベントは6月1日号）、
 月刊こうみんかん6月号（プレイベント）、チラシ、ポスター、
 市HP、東センターHP、東分館ツイッター

担当企画実行委員 稲垣 芳樹、柏倉 明、熊野 賢三郎、高坂 憲二郎、
 矢部 響子

担当職員 鈴木 浩一、倉本 恵子、浅香 佳代子

担当職員感想 計画からまつり当日まで感染症拡大の厳しい状況が続いていま
 したので、実行委員会、本番において感染症対策を最優先にした運
 営を行いました。参加団体の方々には、受付や除菌作業など多くの
 ご協力をいただき、つつがなく無事にセンターまつりを終了するこ
 とができました。

緑分館

子ども体験講座

金属ってもえる？～線香花火を作ろう！～

目的 燃えるとはどういうことか実験をとおして学び、科学に興味を持ってもらう。

日程 令和4年8月7日（日） 午前10時から正午まで

内容 様々な金属を燃やす実験をとおして、燃えるということはどういうことかを学び、火薬の代わりに鉄粉を使って線香花火を作る。

講師 坂口 美佳子さん（科学読物研究会）

場所 公民館緑分館 学習室A・B・C

参加費 200円（材料費）

募集方法 市報7月1日号、月刊こうみんかん7月号、ポスター、チラシ、市HP、公民館ツイッター
申込多数のときは抽選
往復はがき、またはメール

対象 市内在住・在勤・在学の小学生

人数 募集 20人
応募 63人
受講 18人（男性10人、女性8人）

担当企画実行委員 大蔵 芳夫

担当職員 山本 ひろみ

担当職員感想 定員をはるかに超える申込があったが、コロナ禍で定員を通常より少なく設定せざるを得ず、受講できない方が多くいたのは残念だった。

参加者感想 ○はじめてしったことがたくさんあった。
○たのしくってきょうみをもった。
○金ぞくがもえるなんてびっくりしました。せんこうはなびが作れてよかったです。

緑 分 館

成人学校

はがきに水墨画を描こう

目 的 はがきに水墨画を描くことで、水墨画の基礎を学び、描くことを気軽に楽しむ。

日 程 6月17日、7月1日、7月15日、7月29日、いずれも金曜日、午前10時30分から午後0時30分まで全4回

内 容 水墨画の用具についての講義から基本的な線や濃淡の描き方、紫陽花や蛍などをはがきに描く実習

講 師 深江 紫馬さん（水墨画家）

場 所 公民館緑分館学習室A・B

募集方法 市報5月15日号、月刊こうみんかん5月号、ポスター、チラシ、市HP、公民館ツイッター
申込多数のときは抽選
往復はがき、またはメール

対 象 市内在住、在勤、在学の方

人 数 募集 15人
応募 27人
受講 15人（男性6人、女性9人）
延べ参加者 53人

担当企画実行委員 赤尾 八朗、宮本 一

担当職員 林 文男

参加者感想 ○大変丁寧に教えていただき、難しいながらも楽しめました。
○水墨画は思っていた以上に難しかったです。
○とても充実した時間でした。病気をして職を離れ、この講座に参加できて感謝です。仕事でいっぱいだったから、このような事ができませんでした。出来たら続けたいです。ありがとうございました。
○今までやりたかったことの一つなので、大変楽しく参加させていただきました。
○実際に描くと筆使いが自由に動かず、思った以上に難しかった。

貫井北分館

青少年教育講座

世代間交流の推進 はじめてのマンガイラスト講座

目 的	マンガやイラストの技法や漫画家の仕事について、漫画家でもある講師から学ぶ。また感染症予防対策による「新しい生活様式」でも楽しめる、学校や学年を超えた交流を促進する。
日 程	7月31日（日）午後1時から5時まで
内 容	マンガ制作の日程、流れなどからマンガ制作関連の仕事について知る。また、制作上で必要なストーリー、テーマ、キャラクターなどの説明後、実際の描き方などを体験する。
講 師	柚木 元さん（東京工学院専門学校元講師、『ハヤテのごとく！』畑健二郎先生の元チーフアシスタントほか）
場 所	公民館貫井北分館 創作室
募集方法	市報7月1日号、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、小金井市立中学校全5校の全生徒チラシ配布多数抽選 往復はがきまたはメール
対 象	市内在住・在勤・在学の中学生以上25歳くらいまでの方
人 数	募集 16人 応募 29人 受講 14人（男性4人、女性10人）
担当職員	伊藤 智代子、高木 貴紀
担当職員感想	市内全域の中学校から29人の応募があり、定員8人を16人に増やして対応。感染症対策としてアクリル板の設置など実施。チラシは東京学芸大学生 近藤実里さんが、講座の主旨を理解して作成。
参加者感想	<ul style="list-style-type: none">○イラストの描き方だけでなく、将来にどう活かすかなど、いろんなことを学べてよかったです。○今回の講座をうけてみて、あたりの線や、表情などの絵の技術やマンガ家についても知ることができて、とても勉強になりました。○線を自信をもって大きくかくというところが、とても印象に残りました。これから上手になるためにどうすればよいかも分かりました。貴重な体験でした。ありがとうございました。○スクリーンで大きくうつして、ていねいにこまかく説明していただいてわかりやすかったです。○マンガの制作過程やキャラクター表など、とてもマンガ作りの参考になりました。アドバイスが的確で、わかりやすかったです。

貫井北分館

青少年教育講座	世代間交流の推進 ちょっとスペシャルな フラワーアレンジメント
----------------	--

- 目 的** 感染症予防対策を実施しながら、講師の花屋さんから花の流通や花の名前、おうち時間を楽しむフラワーアレンジメントを学び、講師との交流や、学校や学年を超えた参加者間の交流を推進する。
- 日 程** 8月8日（月）午後1時から3時まで
- 内 容** 花の話、選び方などの説明を受け、日頃の生活の中で、花を楽しむ方法やフラワーアレンジメントの基礎を学ぶ。最後に、フラワーアレンジメントを体験した感想を発表してもらい、参加者の交流を深める。
- 講 師** 森 このみさん（Flower & PETAL 代表）
- 場 所** 公民館貫井北分館 創作室
- 募集方法** 市報7月15日号、ポスター・チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、多数抽選 往復はがきまたはメール
- 対 象** 市内在住・在勤・在学の中学生以上25歳くらいまでの方
- 人 数** 募集 8人 応募 9人 受講 8人（男性1人、女性7人）
- 担当職員** 高木 貴紀、伊藤 智代子
- 担当職員感想** お花の向きや全体のバランス、長さなど、講師が全体を周りながらアドバイスをしてくださり、参加者の方から手を挙げて質問している姿も見られました。参加者が迷いなく、楽しそうに集中して作業を進めていく様子が印象的でした。社会教育実習生2名が参加し、会場の準備や受付、片付け、参加者のサポートなどを行いました。
- 参加者感想**
- おしえてくれてありがとうございました。
 - はじめてでもいがいときれいにできたのでうれしかったです。家でもつくってみたいです。
 - 花の名前とか見るのは好きだったけど、かざるのは苦手だったけど、今日やってみて、楽しかった。
 - 今日は、いろ色の名前を知りました。ほかにも花言葉などを知りたいと思いました！ありがとうございました！
 - あまりない経験だったので楽しかったです。花についてもっと知りたいと思うきっかけになりました。

貫井北分館

青少年教育講座	世代間交流の推進 木育ガール キキちゃんとマイ木琴を 作ろう！～木育×STEAM 教育～
----------------	---

目 的 感染症予防対策に配慮して、参加者間でワークショップを通して、学年や学校を超えて交流し、親睦を深める。

日 程 8月9日（火）午後1時から4時まで

内 容 木育ガール キキちゃんと、自分だけのマイ木琴づくりのワークショップ。「木とふれあい、木に学び、木でつながる」木育を体感する。

講 師 前田 彩世さん（東京学芸大学 大学院生）

場 所 公民館貫井北分館 創作室

募集方法 市報7月1日号、ポスター・チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、東京学芸大学附属小金井小学校4年生から6年生チラシ配布
多数抽選 往復はがきまたはメール

対 象 市内在住・在勤・在学の小学4年生以上6年生までの方

人 数 募集 8人 応募 9人 受講 8人（男性4人、女性4人）

担当職員 伊藤 智代子、高木 貴紀

担当職員感想 対話形式で講座を進行し、参加者も積極的に発言や質問が出来る雰囲気を作ってくださいました。制作した木琴を鳴らして参加者全員で曲を演奏している様子を個人が特定できないように撮影し、講師のユーチューブチャンネルで公開しました。曲の著作権については講師が対応済みです。社会教育実習生4名が参加し、積極的に参加者に声を掛けたり、寄り添ったりと、それぞれの性格に合った関わり方をしている姿が印象的でした。

参加者感想

- つくったことがないのをやってみてはじめ少し大変で、むずかしいなと思ったけど分かりやすく教えてくれたので楽になりました。
- ユーチューブをみてみたい
- まるくておもしろい木琴ができてたのしかったです。
- スタッフの人が優しく教えてくれてよかった。
- とても楽しかったです
- ふつうの木琴とは少しちがうけれど、とても楽しかったです！

貫井北分館

成人学校	子ども・子育て支援 自分も家族も大切に するコミュニケーション
-------------	--

目 的 日ごろの育児で疑問や悩みを抱えた保護者がリラックスした雰囲気の中で、子育てについて共に学び合いながら、参加者間で交流することを目的とする。

日程・内容・講師

回	日程	内容	講師
1	6/2(木)	自分の気持ちとの向き合い方	福井 里江さん (東京学芸大学准教授)
2	6/10(金)	子どもの発達とコミュニケーション	高城 絵里子さん (ルーテル学院大学准教授)
3	6/17(金)	パートナーとのコミュニケーション	
4	6/23(木)	相手の気持ちとの向き合い方	福井 里江さん (東京学芸大学准教授)

※いずれも、午前10時から正午まで

場 所 公民館貫井北分館 学習室C・D

募集方法 市報10月15日号、月刊こうみんかん10月号、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター
申込順 電話または直接

対 象 市内在住・在勤・在学の未就学児の保護者の方

人 数 募集 15人 応募 10人 受講 9人(女性9人)
延べ参加者26人

保 育 あり(延べ保育人数 16人)

担当企画実行委員 林 明子、森 千尋

担当職員 伊藤 智代子

担当職員感想 初回、保育室に預けた時に泣いていたお子さんも回を重ねるごとに保育サポーターのいる保育室に慣れ、保護者も安心して講座に集中できる様子が見え始めました。

参加者感想 ○実際に日々もやもやと感じていたことに対して、解決策がみえたようにも感じています。とてもためになりました。
○自分の今までの大丈夫かも、という自信や無理しないで笑顔でいる工夫など色々教えて頂けてとても良かったです！
○イヤイヤ期の乗り越え方、保育つきの講座をぜひ多くやって欲しい。

貫井北分館

成人学校	健康づくり講座 はじめての俳句～夏を詠んでみよう
------	--------------------------

目的 初心者向けの俳句講座。多くの方に参加いただけるよう、講座は通信で行う。

日程・内容

回	季語	俳句投稿期限	添削郵送 (3週間後)
1	兼題「浴衣」	6月15日(水)	7月6日(水)
2	夏の季語	7月27日(水)	8月17日(水)

講師 小倉 一郎さん(俳人)

参加費 314円(切手・ハガキ代)

募集方法 市報5月15日号、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP
申込順 電話または直接

対象 市内在住・在勤・在学の方

人数 募集 30人
応募 22人
受講 22人(男性 6人、女性 16人)
延べ参加者 44人

担当企画実行委員 原 賢一

担当職員 野津 幸代

担当職員感想 3年目の開催です。参加者が投稿した俳句を、講師が一句一句とても丁寧に添削してくださいました。郵送だったのでお仕事をされている方や市内在勤の方などいろいろな方が参加することができました。

参加者感想 ○ 蒼蛙先生ありがとうございました。またの機会を首を長くして楽しみにしております。

貫井北分館

男女共同参画講座	コロナ禍を経験して考える 人と地域がつながる共生社会
-----------------	---------------------------------------

目 的 人権や障がいを自分事として身近に感じられる学びを通し、人権が尊重され、多様性を認め合う共生社会について学び合う。

日程・内容・講師

回	日程	内 容	講 師
1	5/14	青年当事者の A さんと共に考える 発達障害の理解と支援	高橋 智さん（日本大学教授）ほか
2	5/28	視覚障害を知る「それぞれのロービジョン（弱視）」	大平 英一郎さん（ロービジョンフットサルクラブ CA. SOLUA 代表）
3	6/11	社会的養護を知る「自立を余儀なくされる子どもたち	高橋 亜美さん（アフターケア相談所ゆずりは所長）
4	6/25	LGBTQを生きる「自分を説明できる言葉が、なかったんです。」	中山 貴将さん（元NPO法人性同一性障害支援機構 理事長）
5	7/9	聴覚障害を知る「お笑い手話落語」	大喰亭満腹さん（落語家）
6	7/23	「人と地域がつながる共生社会」のためにできること	高橋 智さん（日本大学教授）ほか

※いずれも土曜日、午前10時から正午まで

場 所 公民館貫井北分館 学習室C・D、学習室A・B

募集方法 市報4月15日号、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、申込順 電話、メールまたは直接

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 16人 応募 36人 受講 33人（男性9人、女性24人）
延べ参加者63人（一回だけの参加も可）

担当企画実行委員 森 千尋

担当職員 伊藤 智代子

担当職員感想 聴覚障がいの方は要点筆記者同席で2回受講。障がいの有無にかかわらず、どなたでも参加できる合理的配慮の必要性を感じました。「共生社会は、人の温かさを感じ、楽しく一緒に寄り添ってくれる伴走型支援で」に受講者が深く頷く様子が印象的でした。

参加者感想

- 支援をする人が良かれと思った行為が、支援させる側が違うとずれていると感じてしまう「パターンリズム」の言葉がとても印象に残りました。
- ななめの大人の一人になれるよう目指したい。そのための知識、ありがとうございます。続けて学んでゆきたいです。
- お笑い手話落語は、とても楽しかったです。

貫井北分館

芸術のつどい

地域の芸術文化活動支援 気軽に和体験ー浴衣の着付けと日本舞踊

目的 地域の芸術文化活動の支援や、講師と参加者、参加者同士の交流の促進

日程 6月18日(土)・19日(日) 午前10時から正午まで

講師 寿柳 寿々五郎さん(日本舞踊家)

場所 公民館貫井北分館 北町ホール

募集方法 市報5月15日号、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP
貫井北分館ツイッター 申込順 電話、メールまたは直接

対象 市内在住・在勤・在学の方

人数
募集 12人
応募 4人
受講 4人(女性4人)
延べ参加者 8人

担当職員 野津 幸代

担当職員感想 参加人数は少なかったがその分、着付けや踊りをきめ細かく学ぶことが出来たと思います。2日目、ペアになりお互いに着付けをしました。人に着せてあげることで、見えないところのイメージができて、その後自分で着るときにとっても役に立つということがわかり、上達がうかがえました。

参加者感想

- 浴衣の着付けもできるようになり、少し踊れるようになり、とても楽しかったです。先生も係の方もやさしくて良かったです。
- 着付けはばっちりできるようになったので、違う浴衣も欲しくなった。日本舞踊初めてやって、きれいな踊りだった。

貫井北分館

図書館貫井北分室 公民館貫井北分館連携事業	第23回ビブリオバトル in ぬくきた
--------------------------	------------------------

目的 思いがけない本との出会いを企画として、知的書評合戦とも呼ばれる「ビブリオバトル」を、図書館連携事業で開催する。

日程 8月6日（土）午後2時から4時まで

内容

- ・「color（カラー）」をテーマに公式ルールに則って開催
- ・発表者6人で順番決め（くじ引き）をし、3人ずつでバトルを2回実施
- ・加者全員の投票により各組でチャンプ本を決定し、賞状を贈呈
- ・発表本をお薦めするポップを作成
- ・ポップ、発表本とともに、図書館貫井北分室で展示

場所 公民館貫井北分館 学習室A・B

募集方法 市報7月1日号、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、カラーチラシ（市内小中学校、小金井北高校、多摩科学技術高校、中央大学附属中・高校、小金井市観光まちおこし協会）、ポスター
申込順 電話または直接 図書館貫井北分室へ ※観覧者は当日先着順

対象 小学生以上の方

人数 ①発表者 募集8人 発表 6人
※内訳 大人4人、小学生1人 職員1人
②観覧者 募集15人 参加4人

担当職員 公民館貫井北分館 村山 孝一
図書館貫井北分室 田中 肇、國田 純子



【発表の様子】

担当職員感想 今回もコロナウイルス感染症が拡大する中での開催となったため、消毒を入念に行う。発表者および観覧者数が多いに越したことはないが、少人数による開催の良さも感じられた。今後も連携事業として開催し続け、図書館事業と公民館事業の相乗効果を図りたい。

参加者感想

- とても印象に残る内容でした。
- 色々な本に出会える場を紹介する人の熱意で作られ、楽しめました。
- ビブリオバトルの参加者が小学校2年生の方が3回目に登壇されたと聞き、驚きました。内容も良かったです。
- 初めて参加し、とても良いイベントだと思います。参加者がもっと増えるといいな、と思います。
- 自己紹介も司会の取次も名前がはっきり聞きとれませんでした。はっきり、ゆっくり言って下さるとうれしいです。

第36期第9回公運審
令和4年9月14日

公民館事業の計画

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
本館	市民アカデミー(秋期)	国内及び国際の今日的な様々な課題を学ぶことにより知識と教養を深め、日々の生活に活力を得ることを目的とする。	市民公募の準備会を設置し今日的課題内容を討議し、それぞれの分野の教授等スペシャリストに講義いただく。	別紙参照		10人(多数抽選)	本館学習室B
	ITサポートセンターお気軽ICT講座「LINEを便利に使ってみよう！」	多くの人が日常的に使っているアプリケーション「LINE」について、慣れていない方を対象に、安全で便利に、マナーを守って使うための入門講座を開催する。	小金井市ITサポートボランティアが企画運営し、公民連携により主催事業を実施する。また、申込方法として申込フォームを追加使用する。	①10月22日(土) ②11月5日(土) 午前9時30分～11時30分	小金井市ITサポートボランティア	各10人(多数抽選)	①本館学習室A ②貫井南分館ITルーム
貫井南分館	成人学校「楽しくトレッキング 都民の森～紅葉編・檜原村」	トレッキングの初歩的な学びと実践を行い、コロナ禍でお運動不足解消と参加者の交流を行う。	山歩きの事前学習の後、現地での実践を行いながら、自然を満喫しリフレッシュを行う。	11/2(金)事前学習、 11/8(火)実践	越前谷博(北多摩山の会)	10人(多数抽選)	都民の森(檜原村)
	市民講座「怒る人にも怒れな人にも役立つ 大人のアンガーマネジメント」	アンガーマネジメントを知ることなどでコミュニケーションの様々な場面で、自分に沸き立つ怒りへの関わり方を学習する。	7月に親子対象とした講座を行い、今回は大人を対象として行う。	11/16(水)午前10時～正午	安藤生奈(アンガーマネジメントコンサルタント)	20人(申込順)	公民館貫井南分館学習室
	市民講座「山本有三を知る」	近隣に縁のある作家や作品をを学習することで、文学に興味を持ってもらう。	毎年人物シリーズで実施していく計画で去年は「太宰治」。今回は「山本有三」を映像を交えて、作家の人となりから作品まで学習していく。	11/17(木)、24(木)午前10時～正午	三浦穂高(三鷹市山本有三記念館学芸員)	20人(申込順)	公民館貫井南分館学習室

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
東分館	成人学校 子ども子育て支援講座「簡単・かわいい！ハロウィン ラッピングワークショップ」	秋の大きな行事として浸透しつつあるハロウィンに向けて、プレゼントの基本的なラッピング方法や、お洒落に見えるコツを学ぶことを通して、気分転換をはかりながら日々の暮らしに楽しみを見つけ、日常に彩を与えることを目的とする。	ハロウィンに向けて、お菓子のラッピング方法として、マチなし袋の製作や、箱の作り方、リボンの結び方、道具の使い方、ラッピングのルールについて学ぶなど、ワークショップ形式で展開する。	10/13(木) 午前10時～正午	入山紗妃・大和由佳 (ラッピングコーディネーター講師)	10人(申込順)	・保育定員 8人 ・材料費 800円
緑分館	国際交流イベント「激しく、楽しく、鮮やかなモンゴルの世界」	外国の歴史、自然、文化、日本との関わりを学び、その国についての理解を深める。	講義を聞くだけではなく、モンゴル人による馬頭琴の演奏やモンゴル人のアートにも触れてもらう。	10月8日(土)、10日(月)(祝)、15日(土)、22日(土)午後2時～4時	大西 夏奈子(フリーランスライター・編集者)	30人(多数抽選)	公民館緑分館学習室A・B・C
	成人学校「多摩の縄文時代」	縄文時代とはどのような時代だったのか、多摩地域、野川流域を中心に縄文人の暮らしを考える。	最近の調査・研究成果を踏まえ、縄文時代の社会について考える。	10/19(水)、10/26(水)午後2時～4時、11/9(水)午前8時30分～午後5時(野外研修)	中山 真治(日本考古学協会会員)	20人(多数抽選)	公民館緑分館学習室A・B・C
貫井北分館	青少年教育講座「防災食を活用！作って楽しむ きたまち食堂part.2」	防災食を使用した簡単な調理方法を地域の先生から学び、学校や学年を超えた交流を講師と参加者間で深める。	防災食を使用して「アルファ米オムライス」「簡単レアチーズケーキ」を、感染症予防対策に配慮しながら作る。防災時に必要な物品の確認も行う。	11/5(土) ①午前10時～正午 ②午後2時～4時	潮田彩(調理師)	各回8人(多数抽選)	参加費500円(材料費)
	青少年教育講座「文化祭・学園祭ポスター掲示」	学生の進路選択、地域住民と教育機関の情報交換の促進。公民館と学校教育機関の連携を図る。	地域にある高校や大学など教育機関の文化祭・学園祭のポスターを掲示。	8/8(月)～11/30(水)			
	市民講座「これからのエネルギーと私たちの生活」	再生可能で環境にやさしいエネルギー開発の現状を知り、環境やエネルギーと経済活動や個々の生活との関連を深める。	未来を支えるエネルギーシステムのことだけでなく、財政学・経済学から考えた将来のエネルギーと私たちの生活の関連についても学ぶ。	11/7、11/14、11/21、11/28 いずれも月曜日 午前10時～正午	池上貴志(東京農工大学大学院工学部准教授) 佐藤一光(東京経済大学経済学部准教授)	30人(多数抽選)	

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
貫井北分館	成人学校「まちの先生から学ぶラッピング講座」	地域研究の一環として、市内で活躍する講師から知識や技術を学び、地域資源を知る。講師や参加者間の交流を促進し、街の活性化につなげる。	ペーパーラッピングとリボン結びを学ぶ。	10/8、10/22 いずれも土曜日 午後2時～4時	浮津千愛(ギフトラッピングコーディネーター)	各回6人(申込順)	各回参加費500円(材料費)
	陶芸入門「陶芸入門教室」	開催を週末に設定しただけでなく、初めて保育付きの陶芸入門教室として、公民館利用者の新規拡大を図る。受講後、陶芸サークルを紹介し、学びの継続性を促進する。	はじめて陶芸をされる方を対象に、作陶から本焼きまでを経験して陶芸の基礎を学ぶ。	9/17、9/24、10/1、10/8、10/15、11/5、11/19 いずれも土曜日 午前10時～正午	東田茂正(陶芸家)	8人(申込順)	参加費5,000円(材料費)
	図書館・公民館連携事業「いのちを守る-ゲートキーパーになろう-」	WHOが定める「世界予防デー」、厚生労働省が定めた「自殺対策強化週間」、東京都の「自殺対策強化月間」に合わせ、自殺予防として推進されているゲートキーパーについて学ぶ。	新型コロナウイルス感染症関連による自殺増加も憂慮される中、図書館との連携事業として、社会問題や人権問題に関連した講座を開催。	9/10(日)午前10時～正午	小原彰子(東京多摩いのちの電話事務局長) 有田茂(川崎いのちの電話参与)	30人(申込順)	

資料5別紙

日程	ジャンル	テーマ	講師
令和4年10月22日	国際	国際情勢の流動化と日本の立ち位置	元外務省全権大使・外交官 松井 啓 さん
令和4年10月29日	政治経済	ウクライナ紛争は日本に何をもたらすか	東京外国語大学名誉教授 中澤 英彦 さん
令和4年11月5日	社会	高齢者増と少子化でZ世代は耐えられるか	東京学芸大学教育学部社会科学講座教授 浅野 智彦 さん
令和4年11月12日	歴史文化	学芸の森を歩く	東京学芸大学理科教員高度支援センター特任教授 真山 茂樹 さん
令和4年11月19日	健康	ウィズコロナ時代の生活	小金井市福祉保健部健康課長 石原 弘一 さん
令和4年11月26日	環境	脱炭素社会の取り組み	東京農工大学農学研究院生物生産科学部門教授 大川 泰一郎 さん
令和4年12月3日	地域	身近なゼロカーボンー小金井市気候非常事態宣言ー	小金井市環境部環境政策課環境係長 高野 修平 さん
令和4年12月10日		講座全体をふりかえって	